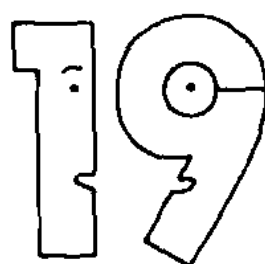


第11回・NTTふれあいトーク大賞100選





19日は「トークの日」。

第11回・NTTふれあいトーク大賞100選

一九九七年二月十九日 初版 第一刷発行

編 者 日本電信電話株式会社 広報部

発行者 宇都宮健一郎

発行所 NTT出版株式会社

〒一五三

東京都目黒区下目黒一―八一― アルコタワー

営業部 TEL(〇三)五四二四―一〇一〇

出版部 TEL(〇三)五四二四―一〇〇一

FAX(〇三)五四二四―一〇〇八

定価はカバーに表示してあります。

乱丁・落丁はおとりかえいたします。本書の無断転載を禁じます。

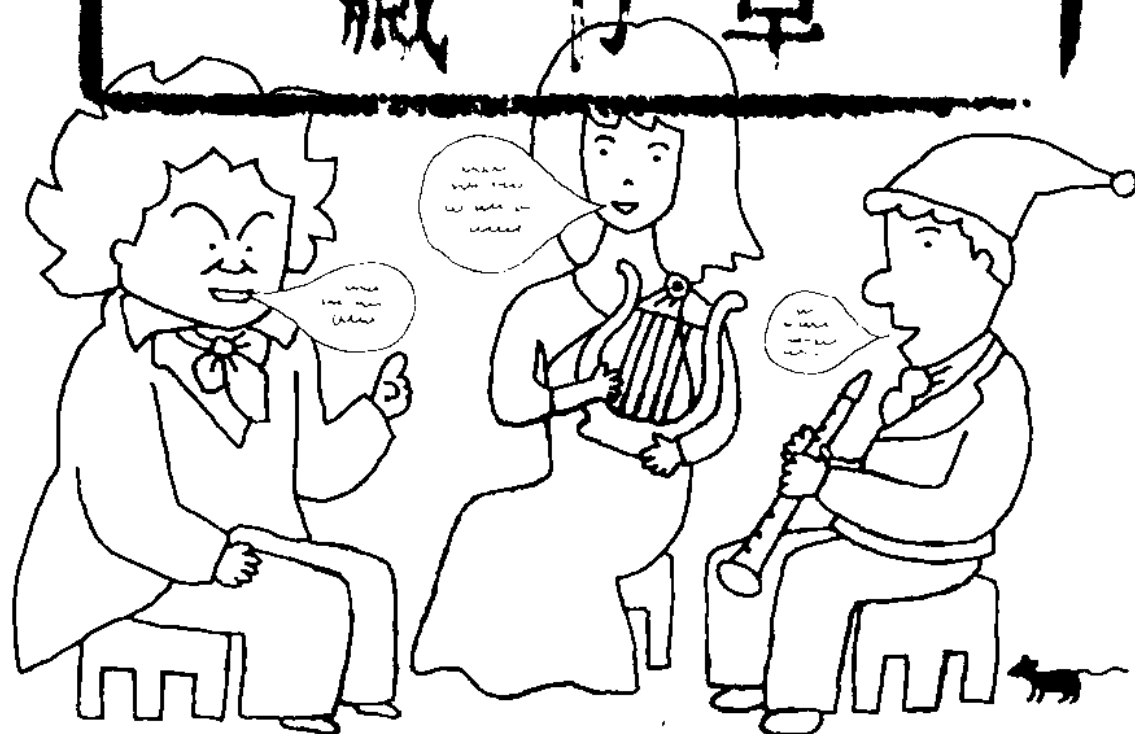
印刷——中央精版印刷株式会社

©NTT 1997 Printed in Japan <検印省略>

ISBN4-87188-502-X C0195

第11回・NTTふれあいトーク大賞100選

江苏工业学院图书馆 藏书章



NTT ©

カバー・イラストレーション||和田誠

本文・イラストレーション||くどうのぞみ

目次

人騒がせな子

外山滋比古

12

大賞

● 一般部門

しわくちやのハンカチ

村田千恵

大阪府
和泉市

16

● 小中学生部門

花のトンネル銀色の雨

内田朝陽

東京都
港区

19

優秀賞

● 一般部門

電話

青木晴彦

神奈川県
相模原市

24

選ばれた私達

大瀧由美

大阪府
堺市

28

FAXで会話

奥津博士

北海道
旭川市

31

な・か・よ・し

後閑弘美

埼玉県
鶴ヶ島市

35

こちら私製お話ダイヤル

高橋豊一

兵庫県
伊丹市

38

折れた櫛くし

徳永一末

福岡県
福岡市

41

一丁目の仲間達

野口ちえみ

東京都
杉並区

44

こんなことあったんだよ

三富浅吉

神奈川県
逗子市

47

それぞれのイチジクの葉

渡邊美恵

島根県
松江市

50

●小中学生部門

ぼくは今おこっている

今瀬智也

岐阜県
関市

53

ぼくの大きいおばあちゃん

倉木 零

静岡県
駿東郡

55

ホームレスのおじさん

佐藤佳織

千葉県
柏市

58

私が男の子だった時のこと

佐藤友可子

神奈川県
相模原市

62

家族の笑い話

佐野明日香

神奈川県
川崎市

65

「あとのまつり」

堤 由布

福岡県
筑紫野市

68

楽しかったフリーマーケット

中村彰宏

埼玉県
大宮市

71

おばあちゃんの九九

ヒューズ・ジャクリン

静岡県
富士宮市

75

「これからは、もっとかんがえてみるよ」

村瀬有紗

愛媛県
今治市

77

トーク賞

ボン兄さん

相田哲志

東京都
多摩市

82

小さなラブレター

青木健郎

大阪府
枚方市

84

親切に包まれた願掛け

阿部美晴

高知県
高知市

88

ユニホームを借りて試合に出た話

荒井義一

兵庫県
神戸市

91

おばあちゃんの振り袖

家坂典子

東京都
武蔵野市

94

待ち人來たらず

井川 實

東京都
江戸川区

97

モモちゃんとプーへ	池谷友佳子	埼玉川越市	100
幸せを運ぶ犬	石田江夏	愛知海部郡	103
ドリーム号で一人旅	伊藤久恵	東京昭島市	106
野球が好きになるまで	井ノ上智明	東京新宿区	109
おばあちゃんの手	岩崎健一	新潟上越市	112
紫のブラウス	岩渕里恵子	岩手東磐井郡	115
おばあちゃんの紅い腰巻	上田はるな	埼玉草加市	118
ぼくの弟	上道正志	山口柳井市	121
初めてのうどん作り	鵜飼涼太	静岡静岡市	124
おじさん	梅木昌子	東京世田谷区	127
白いカエル	江木玲子	東京渋谷区	130
転校生はつらいよ	大村健太郎	静岡静岡市	133
一生忘れられない出来事	岡久八重子	徳島那賀郡	136

最初で最後の長期戦のけんか

小山美佐江

埼玉県
岩槻市

ぼくのいもうと美里は、元気いっぱい

兼森裕太郎

東京都
足立区

祖父の死

神原淳史

奈良県
北葛城郡

いえのしごとってどんなこと?

切土雅子

和歌山県
東牟婁郡

命が宿る場所

草刈啓之

山形県
山形市

「お父さん、単身赴任も悪くはないね」

窪田幸子

滋賀県
大津市

天は知っていた

熊崎伊津子

岐阜県
中津川市

宇宙人からの電話

古川貴子

青森県
弘前市

かえるになったつもり

小崎佳奈子

兵庫県
神戸市

「作務衣」でご利益?

後藤徳子

東京都
調布市

おばあさんの応援

小早川隆

神奈川県
横須賀市

夕ばりメロンのせみ

小林飛鳥

静岡県
沼津市

ゆめはオリンピック

近藤あす香

京都府
相楽郡

ひとりでお出かけ	近藤正博	北海道 札幌市	176
おねえちゃん	紺野千尋	茨城県 竜ヶ崎市の	179
息子よ、お前は強かった	佐藤洋一	東京都 世田谷区	182
父とソフトボール	佐野絵美	静岡県 富士市	185
イルカと泳ごう	澤田知子	大阪府 泉南郡	188
わが家の夏	塩越和子	東京都 八王子市	191
ばあちゃんのリースカレー	塩崎一平	愛媛県 宇和島市	194
父	下村美幸	鹿児島県 出水郡	197
やっとかけられた電話	生野桂史	福岡県 粕屋郡	200
今までで一番心に残った日	末福久義	大阪府 泉佐野市	203
わたしのいとこのまい	菅井彩香	宮城県 仙台市	206
リタイヤしたんじゃない	鈴木裕也	静岡県 静岡市	209
父の日	住吉榮樹	北海道 紋別市	213

どーして娘とお答えパパちゃん(二〇年のエピソード)	関根信威	216
「ピー助、お前メスだったんだ……?」	鷹野恵太	220
小学生に変身した母	田中和子	223
広島での訴え	田中 宏	227
うれしかったおせっかい	田中美枝子	230
ホットケーキをつくったよ	谷本恵理	233
サイクリング	塚本麻衣	235
直哉 ^{なおや} 星人	土屋ゆう紀	237
六月の花嫁	徳田由美	240
お父さんのこと	富山 香	243
わが家の給料制度	長井舞衣子	246
眉毛	永尾美知子	249
私の大切な家族	橋本幸枝	252

北海道
函館市

山梨県
中巨摩郡

和歌山県
橋本市

千葉県
千葉市

京都府
京都市

和歌山県
和歌山市

茨城県
つくば市

新潟県
西津市

大阪府
泉北郡

東京都
武蔵野市

奈良県
奈良市

東京都
杉並区

埼玉県
春日部市

252 249 246 243 240 237 235 233 230 227 223 220 216

エッチな言葉	早川るり子	福岡県 福岡市
プールの中でかんではいけないもの	藤井規子	愛知県 刈谷市
大好きなお弁当	保科瑠美	埼玉県 大宮市
ある日の出来事	星野花子	東京都 文京区
奇跡の兄嫁	本田 倖	京都府 京都市
とんだハプニング話	増田武夫	兵庫県 宝塚市
正夢	松下哲也	静岡県 静岡市
松本家のハチ騒動	松本里奈	神奈川県 横浜市
私の好きな道	松山和枝	埼玉県 和光市
卒業式	岬 和美	大阪府 摂津市
私のお父さん	宮田知香	奈良県 磯城郡
思い出のアンドーナツ	村山メイ子	兵庫県 神戸市
小犬のクロ	本西万里	兵庫県 西宮市

郵便物配達要注意地域

柳原 薫

熊本県
熊本市

294

ママさん記者、奮闘中！

藪内理恵

香川県
大川郡

297

虹の一日

山崎育子

東京都
小平市

300

主流流、異文化交流

山田やよい

神奈川県
横浜市

303

永遠の部屋

若井快夫

神奈川県
藤沢市

306

夏休みの中で一番うれしかったこと

和田佳子

千葉県
佐倉市

310

ひとつの事件

渡瀬 樹

福岡県
福岡市

313

カズ君とコチヨセンセ

渡辺 哲

広島県
尾道市

316

逆洗脳

渡邊武任

宮城県
柴田郡

319

選評

321

あとがき

330

人騒がせな子

昭和女子大学教授 外山滋比古

「えッ！ この人、男だったんだ！」

中学生くらいの男の子が大きな声でさげんだので、まわりがびっくりした。京都で山口誓子の展覧会がひらかれていたときのことである。会場の入口近くに掲げられた大きな肖像写真の前に少年は父親と立っていた。その父親も誓子を女性と誤解していたのではないかと思われるフシがあった。

高浜虚子とか水原秋桜子のように「子」（し）のつく俳号をもつ俳人がいる。それが、知らない人から女性と間違えられるという実例にぶつかったわけである。

つぎは東京の近くのある小学校の話。社会科の時間に女の先生が、小野妹子を女の人として教えた。うちへ帰ってそれを話した子がいて、騒ぎになった。しかし、この名は男だという方が無理なくらいである。ひそかに先生に同情した人もあったらしい。私も失敗したことがある。

泊りがけの仕事で出かけたのだが、着いてみると、相部屋となっている。なんたる



しみったれたことをするものかとおもしろくなかったが、もっとおどろいたことがある。部屋の入口に貼られた氏名を見ると、なんと相手は女性である。主催者はどうかしている。さっそく抗議しなくてはと思いながら、その大きな部屋へ入った。

しばらくすると、会の人々が、紳士をつれてやってきて、紹介した。こちらは女性同宿者のことで頭がいっぱいで、上の空である。女の人がいっであらわれるか、気が気ではない。

もうとっくに着いていなくてはならないのに、その人はあらわれない。そのかわりに、わけのわからぬ人が、なんの用があるのか、やってきて、落着き払って、お茶をすすっている。もうがまんができない。

「ずいぶん遅いですね」
と言うと、主催者がびっくりした。

「なにがでしよう？」

「いや、この部屋にとまることになっている加古さんという……」

「加古さんなら、ここにいらっしゃいますか……」
そこまできいて、ハハア、この人がその女の人の代理できたのか、と見当をつけた。それにしては紹

介のときに、そんなことは言わなかったのがおかしい……

私が女性と思い込んでいた人は、さっきから目の前にいたのである。その間、私はずいぶんトンチンカンなことを言っていたに違いないが、なにも覚えていない。

女性だと早合点した加古里子氏はサトシと呼ぶのである。童話作家として知られる方であるのに、こちらがものを知らないばかりに、とんだ失礼をした。女性と間違えられたことはありませんか、などときいては、いっそう失礼だから、出なかったことばをおさえた。

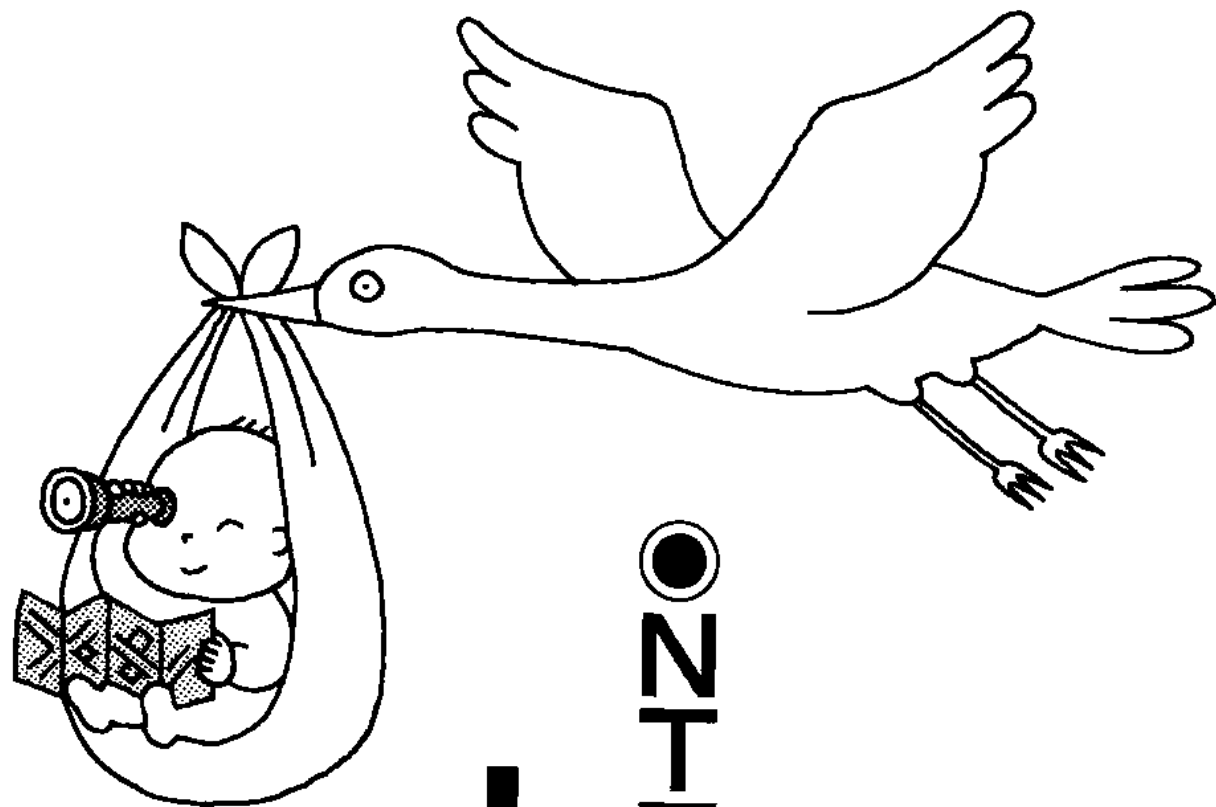
※この本に掲載されている作品は、一般部門、小中学生部門の入選二・四編のうちの、一〇〇編です。

※作品は、賞ごとに著者名の五〇音順に掲載いたしました。

※用字用語は、一部当社規定に統一いたしました。

※敬称は省略させていただきました。

※作品は、作者の文体を尊重し、できるかぎり原文のまま掲載いたしました。



●NTTふれあいトーク大賞
大賞

